

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会
第 20 期 108 号

発行者 平山美保
編集者 岡田レツ
印刷 平山印刷出版

主題聖句

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを
真昼の光のように輝かせてくださる。 詩編 37 編 5～6 節

主題「主と共に歩む」

その支配は

終わることがない



牧師
崔

大凡

室園教会
甘木教会

九州ルーテル学院大学・
幼稚園チャプレン



2020年と数える年が終わろうとしていきます。教会に結ばれているわたしたちにとつてはこの数えを「主歴」と呼ぶのは正しい、信仰的な見方です。わたしたちは主イエスがこの世に來られてから、またもう一年が過ぎるこの世を生きました。同時にまた新たな時間を迎えています。

この会報は年末のニュース番組ではありませんが、わたしたちは2020年をどう振り返ることができましょうか。誰にとつても、新型コロナウイルスの脅威の年であったことは間違いのないことと思います。わたしたちの生活は大きく変わりました。わたしたちの教会生活も影響を受けました。そして今回のコロナウイルスの脅威が治まって、それ以前の世界とは大きく変わる世の中になるだろうとの予測があらこちから

聞こえます。本当にそうなるなら、わたしたちは世界歴史の大きな変化の真つただ中を生きることになります。

一方、この国を含んで、いくつかの国の政治的なリーダーが変わりました。それは周期的にこの世に起きること、政治勢力の変動によるものです。わたしたちももちろんその変動の影響を受け、社会的に繋がって生きる者です。

そしてわたしたちは、この世の様子と何人かのリーダーが変わる流れの中で、もう一人の偉大な方の誕生を祝う時間を、もう一回迎えようとしています。イエス・キリストです。この方が人として現れ、わたしたちに示されて以来、わたしたちの牧者は変わりません。これは信じる人にとつて、今年のウイルスの脅威よりも、政治的主要人物の入れ代わりよ

りも大きな、素晴らしい変化でした。神が遣わされた救い主は誰であるかが知らされ、その方が世の罪人のために十字架で死なれるほど、神はこの世を愛されたことを知らせる出来事だからです。何か真新しいことを言っている訳ではありませんが、わたしたちにとつては忘れられない歴史です。

「あなたは身ごもつて男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」

(ルカによる福音書1章31～33節)

わたしたちは共に、この預言の実現と継続の中にいます。だから恐れないうでください。主と共に歩みます。



祈り合う群れとして生きる

第20期九州教区女性会 会長 平山 美保

主の御名を讃美します

2020年の待降節です。主の到来を待つ時、皆さまに祝福をお祈りします。

*

今期は連盟感謝献金先を覚え、学び、祈ると決めて、1年に1度の「集い」を熊本地区と合同で秋に開催してきました。しかし、3年目の今年は開催が叶わず残念でした。皆さまも交流を楽しみにしておられたと思います。今まで当たり前と思っていた、人が計画したことを実行できる恵みを、改めて心に刻んでいます。

集まることはできませんでしたが、講演をお願いしていた「グループ・ラム」の理事

長・安井元一さんに活動のご紹介やご自身の信仰の証しを執筆していただきました。感謝申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスを抜きには語れないのかもかもしれません。「平時は非常時の鏡」と言われます。しかし、だんだん平時と非常時の区別が曖昧となり、はっきりしないと感じています。だからこそ尚、生き方が問われていると思うようになりました。

わたし自身の教会や社会生活で、事をやるかやらないか、100か0か、だけではない選択や判断力を育てなければと迫られた1年です。通常なら10割計画するところをこれでは

3割とか5割6割ぐらいだなと思っても、できる場所を探る。つながりや支え合いを大切にしながら、今の状況でできる取り組み方はないのかと。神様から「しっかりと考えなさい」と言われているようでした。そのなかで、いつも「主と共に」おられ、人を通して励ましてくださいました。小さな取り組み

だとしても、実を結ばせてくださるのだと信じていることができました。備えられた数々の出会いがあり、道を示されました。新しい年も、感謝を捧げ、希望を灯して歩んでいけるよう願って総会を開催します。今期の歩みを支えてくださり、ありがとうございました。

第21回九州教区女性会 定期総会

日時 2021年2月27日(土)

11:00～15:00

会場 日本福音ルーテル神水教会

熊本市中央区神水 1-14-1

TEL 096-381-3989

参加費 1人・600円(昼食代含みます)

議案 20期活動報告・決算報告

21期主題、主題聖句、活動目標

予算案、次期役員承認の件など

締切 2021年1月27日(水)(委任状も)

「主と共に歩む」3年間を感謝して、

教区女性会定期総会を開催します。

正議員(または代理)の方はご出席下さい。

*新型コロナウイルス対策のため、今総会は正議員の方のみのご出席とし、人数を制限させていただきます。ご理解、ご配慮くださいますようお願い致します。

祈り合う群れとして

地区女性会の集まりには、よく電車をお使いでしたので、なんとなくいつも気にかけて、一緒に移動したりしました。

昔はバイクに乗っておられたので、同じ大牟田教会の女性会で頑張っておられた鷲山さんがお身体を悪くされたときは、よく訪ねておられたそうです。

里村朝子（久留米）



2018 年 8 月の筑後地区女性会にご参加された

大牟田教会

小林茂子さん
主の恵みにある交わり

40 年くらいのお付き合いがあります。ほんとに熱心な方です。見習うことがいっぱいあります。お花の先生もしておられたそうです。

大牟田教会で総会があったときに玄関に生けられたお花がきれいで、お尋ねしたら「わたしが生けました。何人かに教えています」

静かな方ですが、意見をきちんとやさしく爽やかにおっしゃるところなど尊敬しています。

綾垣節子（日田）

大牟田教会といえば小林茂子さんのお名前とお顔が浮かんでまいります。ニコニコしながら教会の交わりを支えておられる姿に、信仰者の在り方を学ばせて頂いています。

昨年 8 月、甘木教会での筑後地区女性会平和礼拝にもヘルパーさんと一緒に出席されました。目のご不自由になられて「もう遠くには行けません」と伺っていましたので、吃驚するやら、嬉しいやら。平和礼拝への思いの深さを感じさせられました。

昼食時、ちょうどこの日が 88 歳の誕生日でしたので、皆さんとハッピーバースディを歌って、お祝いしました。メロディと拍手が広がって教会の交わりと幸せを皆さまと分かち合い、心から感謝しました。これからも小林さんに御祝福が豊かにありますよう、お祈りします。

森部榮子（甘木）



2019 年 8 月 24 日
88 才の誕生日を祝いました

以前から、大牟田教会の女性会と言えば小林さんでした。いつも明るく暖かい方で、そのお姿に神様への揺るがない信仰が見えるように感じました。眼のご不自由になられても全く変わることなく、その背中に小林さんの信仰が見えるように感じます。

岩切華代（久留米）

今期、役員はできる限り各地区の集いに参加し、出会いと交わりに感謝しています。そのなかで、大牟田教会の小林茂子さんをご紹介します。時期的にお会いすることは難しかったので、地区の皆さまに協力をお願いしました。尚、ご本人の証しは 19 期に発行された「My Story」に掲載されています。（役員会）

水原牧師のときから、クリスマス礼拝の時に奏楽をしに大牟田教会にお伺いしていました。牧師先生と一緒にということもあり、地区女性会の中でも、大牟田教会と田主丸教会は、久留米教会のわたしにとってなんとなく親戚のような感覚を持っていました。

ずっと小林さんが女性会の代表で、会報やいろんな連絡を、会員さんの家に赴かれてお伝えになっていたと聞いています。活動もあまりできないけど、つながっていたいからと、踏ん張って支えておられましたが、ご自分の目があまり見えなくなってきたということで、やむな

く休会を決断されたように記憶しています。

休会されてもつながりは切れません。同じように平和礼拝も総会もご案内をしますし、小林さんも体調が良ければ参加して下さいます。

筑後地区女性会は、毎年平和礼拝で祈りをもにしています。総会と平和礼拝の年 2 回ですが、集まればいつものお顔に会えるのが、本当にうれしいことです。大牟田教会と言えば小林さん！ わたしたち久留米教会の（多分他の地区女性会の方々も）共通認識です。

原 真理（久留米）

今の問いに耳を傾けて

小倉教会 穂坂 良子

小倉教会婦人会

我が国の65歳以上人口は、1950（昭和25）年には総人口の5%に満たなかったが、1970年に7%を越え、さらに1994年には14%を越えた。高齢化率はその後も上昇を続け2018年10月1日現在、28・1%に達している。

＊

一方、教会の中での高齢化率はそれを上回ることとは明白な事実として受けとめなければ

ならないのですが、信仰の継承者の減少は如何ともしがたく、将来的に教会の統廃合も考えなければならぬ時が来ている。

以前より信仰者の継承が叫ばれて久しいのですが、少子高齢化の波は教会の中にも押し寄せて一向に努力が実らないのが現実です。

日本を含む東アジアは、今や世界でもっとも出生率の低

い地域と言われています。物事の価値観の多様化によって親の信仰を子どもたちに継承させることもためられる時代背景もあります。

しかし、今を生きている高齢者は毎週教会に出席し、天に召される時まで皆さんと共に礼拝を守れることを至上の喜びと感じています。

家庭集会の充実化もその一つですが、牧師の減少による数教会の掛け持ちによる煩雑化のため、訪問の時間が取れない時に信徒による訪問になります。訪問する信徒も「老介護」ならぬ「老老訪問」となり、長期にわたっての継続ができないこともあります。

それでも以前は、会員が訪問していました。コロナ禍で今年はそれも叶わず、訪問は今年着任された森下牧師が担ってくださっています。

障がい者や高齢による車椅子

子生活者の礼拝参加のため、送迎車の配置や、教会全体のバリアフリー化も急がれる配慮の一つではないでしょうか？

教会は高齢者の声に謙虚に耳を傾け、1日でも1時間でも長く教会生活が続けられるよう、今何ができるのか考えなければならぬ時が来ている。

共に
恵みを



20期活動目標四つの柱 2
「高齢の会員と共に
恵みを分かち合う」



小倉教会婦人会の皆さんと森下牧師

学 び

20 期活動目標四つの柱 4

「平和の問題に目を向けよう」

平和構築における「女性性」^{じよせいせい}の役割

本郷教会 石原 明子



一緒に仲良く暮らしてくだ
さい」といわれたところ
で、昨日まで殺し合っ
てきた同士。自分を襲つ
た人、大切な人を奪った
隣人を、どうして急に信
頼できようか、という課
題に突き当たります。

日本平和学会で、平和構築に
おける女性の役割について話
す機会をいただきました。例え
ば、内戦後の平和構築で大切な
ことの一つは、加害者と被害者
の和解です。住民同士が敵味方
として戦った内戦では、国連等
の介入で停戦・終戦になったと
しても「今日で内戦は終わりな
ので、住民の皆さんは今日から

内戦後の和解と平和構築に
は「正義」が必要だとされてい
ます。戦争だから仕方がなかっ
たのだと水に流すのでなく、悪
いことは悪いとして、正しいこ
とがなされる社会を構築する
ということです。しかし、「裁
く」だけでは正義は実現しませ
ん。悪いことをした人が「本当

に悪かった。生き直したい」と
思うためには「赦し」が必要で
す。

倫理学に「ケアの倫理」「正
義の倫理」という議論がありま
す。「正義の倫理」とは、正し
いことを判断し、成すのが倫理
の根幹とする考え方で、「ケア
の倫理」とは、そこにある苦し
み（ニーズ）に応答しケアする
のが倫理の根幹だとする考え
方です。後者の「ケアの倫理」
は、フェミニズム倫理学者たち
が、これまで多くの女性が社会
や家庭で担ってきた役割を観
察する中で提案された倫理で
した。内戦後の「正義」が実現
されるためには、まさにこの
「ケア」が必要になります。傷
ついた被害者のケア、加害者も
向き直るにはケアが必要です。
「飢え乾くものに水を」。それ
が多くくの女性が社会の中で
担ってきた役割なのでしょう。
「ケア」の根幹は愛です。性別

役割分業や性の在り方の多様
化が自覚される現代、この役割
は戸籍上の女性だけが担うも
のではありません。教会の中
で女性会の役割はとても大きな
ものであり続けてきました。教
会全体がもつ「ケア」機能を、
女性会が中心的に担ってきた
のです。高齢化や性的役割分業
の多様化の中で女性会の在り
方が問われ始め、一方で女性牧
師の数も増えています。教会の
中で女性や「女性性」の役割の
再検討も含めて、シャローム
（平和）のために必要な「ケア」
を皆で担いたく思います。

（水俣教会・健軍教会客員会員
熊本大学准教授 平和学・
紛争解決学）

題の「女性性」は、旧来、多
くの女性が担ってきた社会的
役割の性質を指して意図的に
使っています。（ご本人談）

わたし
たちの

活動紹介

いつもの

熊
本
教
会

コロナ禍の活動

今年は、コロナに始まりコロナに終わりそうな 1 年ですが、女性の会の活動は 3 月から 5 月がお休みだった以外、それなりに活動できたのではないかと思います。

毎月、第 3 日曜日の礼拝後に「聖書研究」を行っているのですが、6 月からは「愛餐」をせず、飲み物は各自持参で 30 ～ 40 分くらいの短縮バージョンでやりました。

また、寄せ書きのバースディカードはお休み中もずっと継続することができ、受け取られた方には大変喜ばれました。小さな働きかもしれませんが、与える感動は小さくないと実感した次第です。

それから 9 月からは毎月、女性の会の会報の発行を始めました。例会報告や会員紹介の欄があります。なかでも会員紹介欄は、受洗から今までの来し方が語られており、その姉妹への理解が一段と深まります。特に 10 月号には、9 月に帰天された姉妹の「証し」（晩年に語られたもの）が掲載され、改めてその姉妹の人となりを知り、神様の導きに従われた人生に感銘を受けました。この会報は、牧師夫人が編集責任者として携わって下さり、本当に感謝です。

11 月にはミニバザーを開く予定ですが、コロナの状況を見つつ、また少しずつ活動を再開していけたらと願うばかりです。在主。

中島由里子



教会の皆さんで

健
軍
教
会

ホームレスの方を支援「おにぎり作り」

新しい生き方を

主の御名を讃美します。

今年、実行することができた女性会の活動が「零」ではなかった事、欠けることなく皆に命があることに感謝を…。そんな思いで活動のご報告をします。

6 月下旬、長年続けているホームレスの方々へのおにぎり作りができました。毎年少しずつ、その数が減ってきていることは安堵ですが、どこかわたしたちが気づかぬ所に届けるべき方がいらっしゃるのでは…という気持ちも過ぎります。

9 月末、集えぬ礼拝の辛さをわたしたちよりずっと強く感じながら施設で暮らされている 5 人の兄弟姉妹へ、教会を表す折り紙等を同封しカードをお送りしました。目のご不自由な姉妹へは「音」を届けるべく、メロディーカードをお送りしました。

教会の「お台所」である女性会行事のある毎に、ベテラン女性会員の指揮の下、脈々とその味が受け継がれてきましたが、今年はその機会も無く…。金柑から梨へと変わった人気のコンポート作りも無し。唯一、プロカと見紛うほどの作品を作る手芸サークルのみが、数名で活動を続けています。

ですが、「新生町」に建つわたしたちの教会です。主の声を聴き「新しい生き方」を模索し、神のご計画に備え、共に進んでいくつもりです。

甲斐 夕貴

紙上紹介

連盟感謝献金先を覚えての3年目

社会福祉法人 グループ・ラム



神様、障がい者、グループ・ラム

理事長 安井 元一



女性会の皆様には、いつも、グループ・ラムをご支援いただき、また、祈りにおぼえていただきありがとうございます。

わたしは中学3年生の時に、神様に出会い、喜びの中に洗礼を受けました。高校生の時、駅前の通りでアフリカの子どもたちへの募金活動をしていたジョン・ボーマン牧師（神水教会で宣教していたナタン・ボーマン牧師のお父さん）と出会い、家族で大垣ルーテル教会へと導かれました。

そして、ある日、ボーマン牧師の説教のなかで「山の洞穴の牢屋や屋敷牢に入れられている人々がいます、その人たちを助けてあげたい」というお話がありました。まだ障がい者の方々の存在さえ、聞いたこともお会いしたこともない時代でしたので、とても衝撃を受けたのを、昨日の様に覚えています。ボーマン牧師の「まず、祈ってから始めましょう」から始まる、神様の現実への働きに、驚かされるばかりで、障がい者施設「あゆみの家」の設立、運営、教会の働き…、これをとつても神様が現代に起こ

してくださる奇跡ばかり！そんな中で信仰も育てられ、感謝でした。会社の転勤で九州の日田に来ることになりましたが、神様が一緒だからという安心感と、神様の九州でのご計画は何だろうか？ のワクワク感がありました。

まずは、マイホームをバリアフリーで建て、車いすの方や子どもたちの集まる場所になりました。そんな中で「社会福祉法人の設立」の話が起きたので



すが、さすがに、資金や土地勘も何も無い状態では…、でも「これが、神様ののみ旨ですか？でしたら、あなたが実行してください。そしてあなたが信じてついて行ける信仰を支えてください」と、神様のせいにして（？）、祈りました。でも神様は必要なものを、全てご存知で、不思議なほどに豊かに整えてくださいました。

やはり、問題は最後までついて行ける信仰でしたが、何とか支えられて、社会福祉法人グループ・ラムがスタートできました。今はハンディのある方の作業所と、重度の方の居場所としての生活介護事業をしています。

これからも神様のみに、ワクワクしながらついて行きたいです。小さな施設ですが、これからグループ・ラムを祈りおぼえてくださいますようお願いいたします。

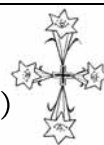
（日田教会代議員）

グループ・ラムをご紹介します



- 就労継続支援B型定員14名 生活介護定員6名
- 1995年 フリースペースとして開設
2012年～ 以下の事業内容
- ①施設の農園で収穫した農産物をきれいにそろえて
生協などに出荷しています。
- ②組みひも作り 1本1本、丁寧に手づくりしています。
- ③ポップコーン 米国ゴールドメダル社のポップコーン
マシンと秘伝のオイルでおいしいポップコーンを！

ご召天



中田千恵子姉 95歳(熊本)

2020年3月29日

中沢 道 姉 101歳(二日市)

2020年8月26日

角野 嘉子姉 97歳(熊本)

2020年9月10日

歩みと予定

9月25日(金) 役員会
10月7日(水) 役員会、
熊本テルサ下見と打ち合わせ
10月13日(火) 連盟合同役員会
(ウェブ会議) 平山
10月31日(土) 役員会
11月12日(木) 役員会
11月17日(火) 後期会費期限日
11月20日(金)

連盟総・大会第2回実行委員会

11月27日(金) 連盟に送金
12月11日(金) 役員会、
みちしるべ108号発送

2021年

1月11日(月) 会計監査 大江教会
2月13日(土) 筑後地区総会
2月20日(土) 熊本地区総会
2月27日(土) 教区女性会総会

神水教会

祈っていることや喜び

今年2月にお願ひした調査票に記入して下さい

* 遠方にいる方、施設や入院中の方を覚えて祈っています

* 一人ひとりを神様が覚えてくださり、成すべき事を教え導いてくださいますように

* 子育て世代へのフォローします

* 新入会の方を与えられ感謝です

* 高齢の方を覚えて祈り、訪問したい
* 互いのために祈り合い、証しを分かち合うことで力を得、伝道できますように

* 若い世代の参加に感謝します

* 子どもたちへの伝道を！

* 研修で外国から日本に来ている青年の心休まる場所となるように

* 近くで災害がおきて、祈りと共にできることを具体的に考えたい

* 魅力ある教会・女性会作りを祈りのなかで見いだせますように

* 女性会から呼びかけた讃美とコーヒータムの継続が大きな喜びです

* 世界の平和をいつも祈っています

* 子どもたちの幸せを祈ります

* 若い世代が活動に参加されますように

編集後記

20期最後の「みちしるべ」108号をお送りします。103号から108号まで、1通の依頼状送付に快く応じて原稿をお寄せ下さった方々、また周りで支えて下さった方々、皆様のおかげで「みちしるべ」は出来上がりました。心より御礼申し上げます。
今後も「みちしるべ」が皆様の心をつなぎますように！
R

準備進行中です！



日本福音ルーテル教会女性会連盟

第25回連盟総・大会

2021年6月8日(火)～9日(水)

ホテル 熊本テルサ 熊本市中央区水前寺公園 28-51
Tel.096-387-7777

熊本地震の際にいただいた

皆さまからの支援と祈りに感謝しながら

3年に1度の総・大会を熊本で開催します